



清水祥平 村上由貴
/通信制作担当\

梅の蕾が色づいてきて、時々春の兆しを感じるようになってきましたね。先日、笑うと免疫力が高まると何かで読みました。季節の移ろいは自然と笑顔を誘うなあと思いますが、あたたかくなるにつれ、そんな瞬間が増えてくるのだと思います。今月は裏面に清水隊員からのメッセージです！ぜひご覧ください。

中国新聞さんに掲載いただきました (村上)



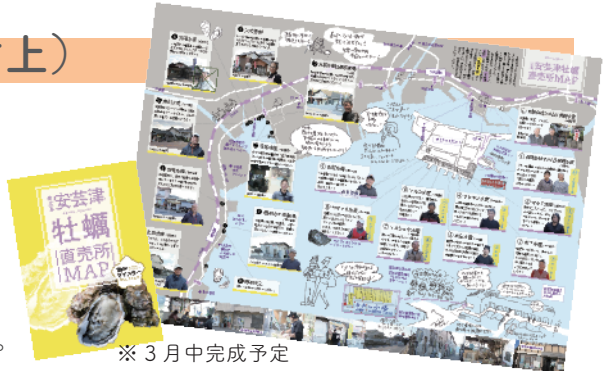
2月3日の中国新聞で、手帖を取り上げていただきました。改めて完成までご尽力くださった、多くの方へ感謝をお伝えいたします。町内に置いていただくことで、安芸津への来訪者がほんの少しでもいらしたら嬉しいなという気持ちですが、遠くの方はまだまだ移動しづらい世の中です。そんなことから販売サイトなるものに初めて登録をし、オンラインサイトで購入できる仕組みを整えました。安芸津にいらっしゃる方はぜひ、町内のお店で手に取っていただきたいですが、遠方の方へのご案内手段として、ご活用頂けますと幸いです。



and 本
murakami
seisaku

牡蠣直売所 MAP 制作中 (村上)

既存の牡蠣直売所 MAP のリニューアルに携わっています。安芸津に牡蠣業者さんがこんなにおられるのか！と驚きながら、安芸津をまた深く知るきっかけをいただきとても嬉しい！ありがとうございます。皆さん、気さくな方ばかりなので、たくさんの人に直売所に訪れる面白さを実感して欲しいです。



※ 3月中完成予定

安芸津町協力隊・活動カレンダー ※予定含む

3 / 21 (月・祝) 歩いて撮って話して、みんなで散策 MAP を作ろう！ (村上)

3 / 22 (火) 清水祥平 活動報告会 / 安芸津生涯学習センター 302・303号室 (清水)

4月上旬 安芸津お土産手帖 展示企画展 準備中～！ (村上)

column < 最近の出来事 >

今、志和町で活動している協力隊員の伊藤かおりさんと一緒に「日本ミツバチ」に関する冊子制作をしています。伊藤隊員は、志和町で日本ミツバチを育てながら、ミツバチが自然環境(地域)に欠かせない生き物であることを活動を通して伝えています。その思いに感化され、人、動物、自然、すべて繋がっていることが伝わるもの(冊子)にしたいなと思うばかりです。

お問い合わせ (清水・村上 / 安芸津支所地域振興課内)

TEL : 0846-45-1100 FAX : 0846-45-4264 MAIL : okoshi.akitsul@gmail.com

【ご挨拶】

皆さまお世話になっております。地域おこし協力隊員の清水祥平です。私はこの3月をもって、協力隊員を退任することになりました。お世話になった皆さまへ直接ご挨拶をさせていただきたいところですが、コロナ禍でもありますので、通信にてご挨拶をさせていただきます。

また、3月22日14:00～安芸津生涯学習センター（詳細は別紙のチラシ）で、活動報告会を致しますので、ご都合がつく方はぜひお越しください。最後の通信となる今回は、自身が取り組んできた活動内容についてお伝えさせていただきます。



【活動内容の「これまで」と「これから」】

①自然体験イベント

“教育”の視点から、赤崎や龍王島を中心に、地域・自然資源を体験する場を提供してきました。コロナ禍の2年間でしたが、本当に多くの方に参加いただきました。他地域から参加してくれる方も多く、自然体験を通して、安芸津を知っていただくことに繋がったと思っています。中には、その後も龍王島を利用してくれる方や、安芸津の食材を購入してくれるようになった方もおり、安芸津のリピーターを増やすという私の裏の目標も達成できたのではないかと考えています。

今後は、甲斐農園さんと連携し、風早にキャンプ要素のある畑を開園予定です。加えて、県内の教育機関に野外体験の場として、安芸津を活用していただく話も進めています。



②風早小学校コミュニティスクール

着任当初より、オブザーバーとして関わらせていただきました。地域と共に、どうすれば良い成長の環境を作れるのかを考え、また、母校でもある広島大学の学生と連携しつつ、子どもたちと「地域と関わる」ということについて一緒に考えてきました。いまの学校現場のリアルなニーズに触れることができ、私自身、大変学びの多い時間となりました。来年度からは豊田高校とも連携をし、風早小学校にて「放課後子ども教室」を実施します。私もこの教室のコーディネーターとして関わらせていただきますので、引き続きよろしくお願ひします。

③独自の寺子屋の開校

任期中に形にすることはできませんでしたが、新しくできたコワーキングスペース「third」を拠点として次年度内に寺子屋を開校予定です。こちらでも新しい学び、将来に生きる学びを作っていくよう準備していきます。



【最後に】

任期中の約2年間、本当に多くの方々のお力添えをいただき、多くの活動が実施できました。おかげで、この2年間で自身の活動の基盤となるものをこの安芸津にて築くことができました。今回、「流れが来ていると感じたら後で後悔しないように、チャレンジをしたい。その先の将来を歩みたい」という思いを胸に、公務員の枠を超えたさらなるチャレンジのため、退任を決心しましたが、安芸津での活動は拡大していく予定ですので、マイナスの退任ではなく、プラスの退任と捉えていただければ幸いです。

これからも、皆さまからたくさんのご協力をいただきながらの活動となるかと思っています。この町にしっかりと根を張り、皆さまへ恩返しができるよう精進していきます。今後ともよろしくお願ひいたします。